

(表紙)

社会資本総合整備計画
津波に強いまちづくり計画

北海道 蘭越町

令和2年2月6日

計画の名称	蘭越町(港地区)津波に強いまちづくり												
計画の期間	令和02年度～令和03年度(2年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	蘭越町												
計画の目標	蘭越町港地区は、日本海の想定津波波源域付近(F12、F14_S12、F15)に位置しており、平成30年に津波災害警戒区域に指定されている。最寄りの指定緊急避難場所である大照寺は、海側に立地しており、付近の住民は津波襲来時に海の方へ避難することに心理的恐怖を感じている。 周囲に適当な高台がないことから、新たな指定緊急避難場所及び指定避難所の機能を持つ「蘭越町港地区津波避難タワー」の建設を行い、津波に強いまちづくりを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	260	A	260	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和元年度		令和3年度
1	港地区の津波・洪水等による浸水被害の軽減面積を0㎡から1,198.71㎡へ増加させる。			
	津波・洪水等による浸水被害の軽減面積 0㎡→1,198.71㎡	0㎡	㎡	1198㎡
2	避難が可能となる施設の人口を0人から80人へ増加させる。			
	避難が可能となる施設の人口 0人→80人	0人	人	80人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全社会資本整備交付金)

